

## ○ 第 2 回 小牧市自殺対策計画策定委員会での意見とその対応等

	委員からの質問、提案、いただいた意見等	対応等
1	自殺対策計画と他の計画について	
	・市の既存の計画と整合を図りながら進めるのか、また最初から作るのか。	⇒小牧市地域福祉計画、健康こまきいきいきプランなどと整合を図りながら進めます。(資料 2 P. 4)
2	相談窓口について	
	・相談窓口を一本化してはどうか。 ・公的機関の窓口が知られていないのもっと PR すべき。 ・代表の相談窓口を決め、そこで一旦整理して適切な相談先につないでほしい。 ・窓口一本化も大事だが、重層的にいろいろと相談できる体制づくりが必要。	⇒一つの課で専門的な内容を全て対応するのは困難であるため、相談窓口の一本化はせず、相談先に困られた方が相談できる市民総合相談案内『相談ほっとナビ』をはじめ、他各種相談窓口について市民へ周知を図ります。(資料 2 P. 53)
3	自殺対策に関する周知について	
	・市で行っているサービス、自殺対策に関する情報を広報などでもっと市民に周知してはどうか。	⇒自殺予防週間や自殺対策強化月間について、周知啓発を図ります。(自殺予防街頭啓発キャンペーン、広報やホームページによる PR します。) (資料 P. 53)
4	計画での施策・取り組みについて	
	・高齢化社会となっており、今後も高齢者が増えてくる。市で孤独死を対策する必要がある。 ・企業への働きかけの一つとして、こころの相談窓口のパンフレットを企業へ配置してほしい。 ・普段から周りの人が、悩みを抱えている人の顔色や表情の変化を気づくことが大事である。 ・精神疾患を抱えた人やアルコール依存症の人の支援を盛り込んでほしい。 ・自己肯定感が低い若い世代の人たちが、子育てをしていくとなると、虐待のリスクが高まる。エジンバラ産後うつ病質問票(※)を活用し、支援できるといい。	⇒高齢者の見守り、職域への働きかけ、悩みを抱える人に気づける人材の育成、精神疾患患者への支援、自己肯定感の醸成及び産後うつへの取り組みなどに対する内容を計画に盛り込みます。 (資料 P. 54、P. 56、P. 59、P. 60)
5	基本理念について	
	・「いのち」を大切に」とあるが、遺族の心情を考えると考え直す必要があるのではないか。	⇒遺された人への支援の充実にあるとおり、後追い等を防ぐ目的でもあるため、「(今ある)いのちを大切に」という意味で残します。(資料 P. 50、P. 61)

※エジンバラ産後うつ病質問票…母親が産後の気分について 10 項目の設問に回答し、母親の抱える問題を明らかにすることで、支援者が産後ケアをするための参考資料とするもの。